

ミスミグループ通信 vol.59

2022年4月1日～2023年3月31日



© 2023 James Rosenquist Foundation / ARS, NY & JASPAR, Tokyo E5210

MISUMI Art Collection

ジェームズ・ローゼンクイスト 『Red Highway Trust』

解説は裏表紙をご覧ください。

株式会社 ミスミグループ本社

証券コード：9962

地域毎事業モデル開発を加速し、異なる需要に応える成長を目指す



代表取締役会長
西本 甲介

代表取締役社長
大野 龍隆

2022年度における世界経済は、新型コロナウイルス感染による影響を受け、中国では期初のロックダウンや下期における感染再拡大などにより経済活動が停滞し、需要低迷の状況が継続しました。その他の海外地域では

インフレ等の影響を受け、下期にかけて需要が次第に減速しましたが、欧米は成長を維持できました。一方、日本においては、中国不振の影響や工場稼働率低迷などにより、自動車関連需要を中心に総じて低調に推移しました。

こうした環境において、当社はメーカー事業と流通事業を併せ持つユニークな業態を活かしながら、これを支える事業基盤をグローバルで進化させ、顧客の確実短納期ニーズに応えることで世界の製造業を中心とした自動化関連産業に貢献しています。これまで当社が築いてきたIT、生産、物流の強固な事業基盤やグローバル拠点網を活用し、顧客の需要を的確に捉えることに尽力しましたが、期初中国におけるロックダウンや、下期にかけてグローバルで設備投資需要低迷の影響を強く受けました。この結果、需要減速の影響を受けましたが、為替効果もあったため、2022年度の連結売上高は3,731億5千1百万円（前年同期比1.9%増）となりました。

セグメント別では、FA事業は、欧州や米州において成長が継続したものの、中国や日本の需要が低迷し、売上高は1,219億3千2百万円（前年同期比2.2%増）となり

ました。金型部品事業は、グローバルで自動車関連設備投資の後ろ倒しや工場稼働の低下により、中国やアジアを中心に低調に推移し、売上高は791億2千5百万円（前年同期比5.3%増）となりました。VONA事業は、欧州や米州は堅調なEV関連の需要がけん引し、引き続き成長しましたが、中国や日本は工場稼働率低下等の影響が大きく、売上高は1,720億9千3百万円（前年同期比0.2%増）となりました。

利益面につきましては、売上数量減および新基幹システム導入に関わる費用の増加により、営業利益は466億1千5百万円（前年同期比10.7%減）、経常利益は478億3千8百万円（前年同期比8.9%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は342億8千2百万円（前年同期比8.7%減）となりました。

地域毎成長戦略を描き、グローバル確実短納期の強みをもって次なる高成長を目指す

世界経済および日本経済は、アフターコロナの市場構造転換およびグローバルサプライチェーンの地域ブロック化がさらに進展する中、今後も不透明な経営環境が続くものと想定しています。一方で、産業界では様々な社会課題を見据えて自動化の需要はグローバルで一層の高まりが期待されます。

当社では、こうした顧客のニーズに対応すべく、今後もIT、生産、物流の事業基盤を進化させ、「グローバル確実短納期」にさらに磨きをかけてまいります。また、より成長性・収益性の高い地域・事業・サービスへの集中を加速するとともに、競争環境の変化や地政学リスクなどを見据えてモデルの革新に取り組みます。

Top Message

トップメッセージ

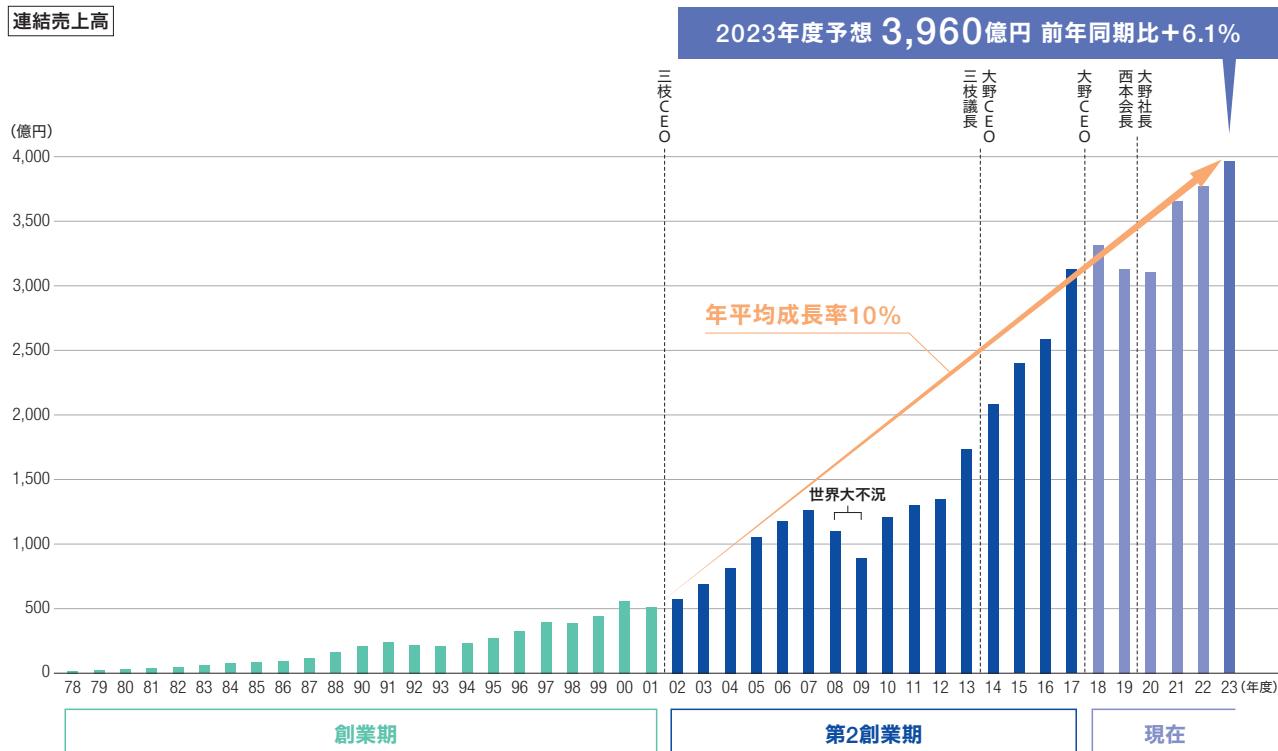
2023年度の主な取り組みについてご紹介します。

当社は当面の重点戦略地域である中国とアジアにおいて、「エコノミー品」による価格競争力を磨き、グローバルに横展開すると同時に、機械部品の3Dデータをアップロードするだけで、即時見積もり、最短1日出荷を実現する日本発のサービス「meviy」のグローバル展開を加速し、この双方向の戦略展開により地域毎の成長を狙いま

す。

「エコノミー品」については、継続的に商品開発に注力し、品揃えの強化および顧客選択肢の広がりをもって、中国・アジア市場での浸透を図ります。一方、「meviy」については、既存領域である3Dデータに加え、市場ニーズの約4割を占める2D図面への対応を開始しました。今後も商品領域の拡大や海外強化などによって、さらなる「顧

ミスミグループの業績推移



(注) 1989年度は決算期を変更した都合上省略してあります。

客時間価値」の向上を目指します。

さらに、競争力向上に向けた事業基盤の強化も継続しています。今後中国市場における自動化ニーズの拡大を見据え、華東地区に物流拠点、華南地区に生産拠点を新設し、それぞれのエリアで顧客基盤のさらなる拡大を図ります。

こうした施策に取り組むことで、2023年度の売上高は3,960億円、営業利益510億円、親会社株主に帰属する当期純利益は378億円を見込んでいます。

株主還元

当社は、将来にわたって競争優位性を保ち、持続的成長と企業価値向上を実現するため、IT、生産、物流の事業基盤の強化やサプライチェーンの強靱化に積極的に取り組み、事業モデルを刷新し続けています。

そのため、中長期的な視点での成長投資と株主の皆さまへの還元は、バランスを取りながら実施してまいります。

自己株式取得

自己株式取得につきましては、手元資金、成長投資機会、株式市場の動向など状況に応じて、機動的に実施していきます。

本自己株式取得は、株主還元の充実と機動的な資本政策を目的としています。

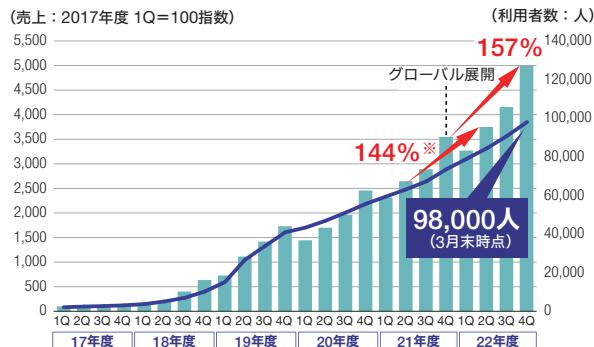
取得に係る事項の内容

取得総額上限：100億円

取得株数上限：4,000,000株

取得期間：2023.05.01～2023.07.31

meviyグローバル売上高・累計利用者数推移

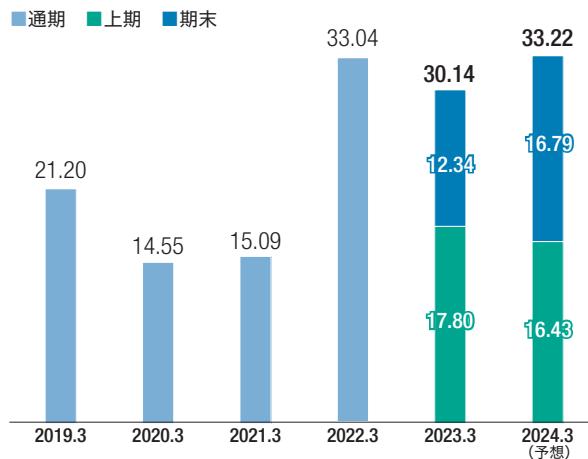


※ラビッドプロトタイピング除く。ラビッドプロトタイピングは23年4月でサービス終了

配当金

配当につきましては、経営基盤拡充、財務体質の強化、資本効率の向上なども勘案し、配当性向25%で実施しております。

1株当たり配当金（円）



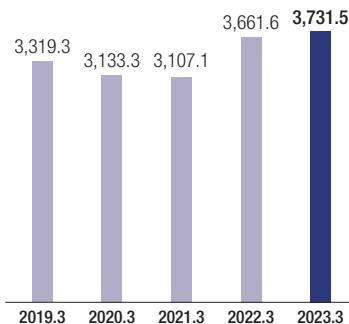
Financial Highlights

連結財務ハイライト

売上高 (億円)

3,731.5 億円

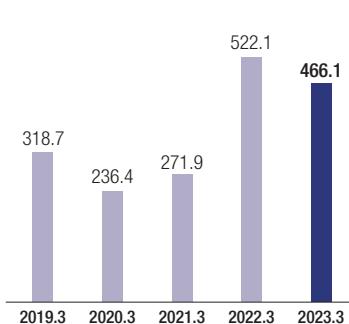
前期比 1.9% 増



営業利益 (億円)

466.1 億円

前期比 10.7% 減



親会社株主に帰属する当期純利益 (億円)

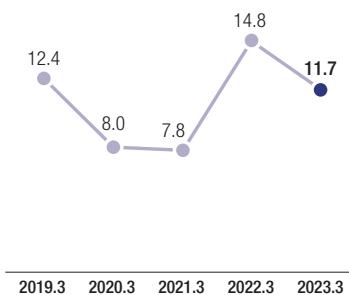
342.8 億円

前期比 8.7% 減



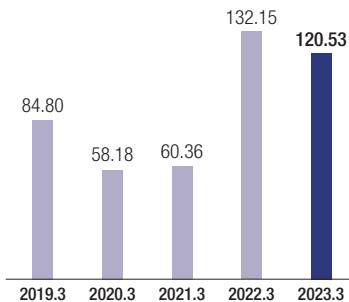
自己資本当期純利益率 (ROE) (%)

11.7 %



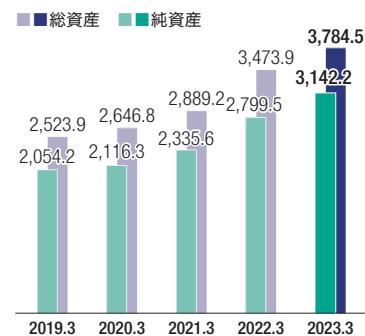
1株当たり当期純利益 (円)

120.53 円



総資産・純資産 (億円)

総資産 **3,784.5** 億円
純資産 **3,142.2** 億円



詳細な財務情報は当社ホームページ「株主・投資家情報」へ <https://www.misumi.co.jp/ir/>

ミスミ IR 検索



セグメント概況

FA事業



製造装置、生産自動機などに利用する精密機械部品の開発・生産・販売をしています。

金型部品事業

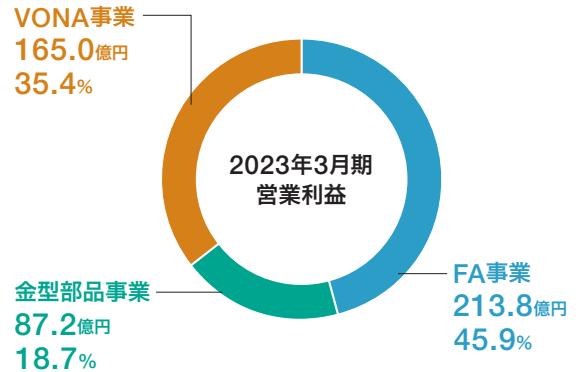
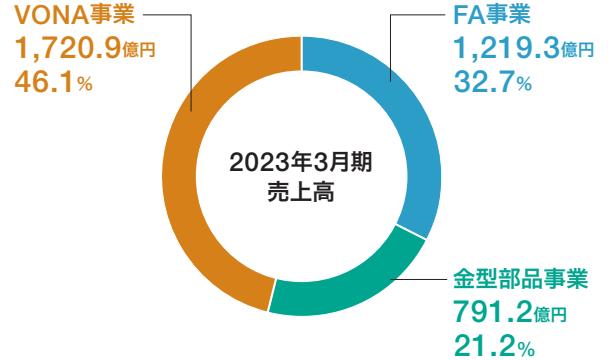


プレス部品、樹脂成型部品を量産する金型に組み込む標準部品や精密部品の開発・生産・販売をしています。

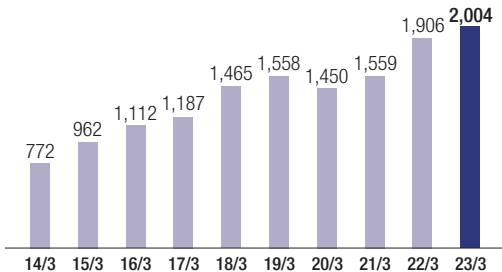
VONA事業



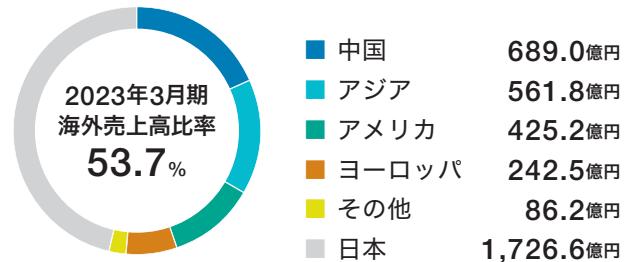
他社商品も含めた自動化関連間接材から消耗品まで幅広い商品群を販売する流通事業。ミスミブランドの他、グローバル3,000社以上のメーカーが参画しています。



海外売上高 (億円)



地域ごとの状況





ものづくり日本大賞
内閣総理大臣賞

第9回ものづくり日本大賞 『内閣総理大臣賞』を受賞



meviyの事業グループが、第9回ものづくり日本大賞「内閣総理大臣賞」を受賞しました。これは日本の産業・文化の発展を支え、ものづくりの第一線で活躍する各世代のうち、特に優秀と認められる方々を表彰する制度です。「内閣総理大臣賞」は、その中でも最も優秀と認められたものになります。

meviyは機械部品の3Dデータをアップロードするだけで、AI自動見積もり機能により、価格・納期を即時回答。同時に、独自のシステムにより製造プログラムを自動生成し、工場ですぐに加工が開始され、最短1日での出荷を実現。通常2週間から1カ月程度かかる調達時間を9割削減、と高く評価されました。

無料の会員登録でいつでも、何度でも利用が可能で、幅広い顧客ニーズに対応でき、ユーザー数はすでに9万人を超えました。2021年には欧州、2022年にはアメリカと、顧客基盤はさらにグローバルに拡大しております。

meviyのユニークな機能による設計・調達プロセスの非効率解消効果は絶大です。人手不足・時間不足などの社会課題を解決したい、というmeviyに託す思いは、まさにミスミが目指している「顧客時間価値」の向上です。

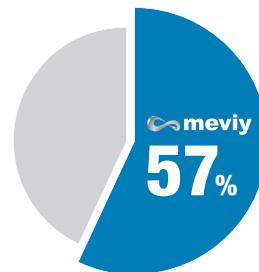


岸田文雄内閣総理大臣（左から3番目）と記念撮影する受賞者たち

CHECK! 3年連続 国内シェアNo.1

meviyは2022年オンライン機械部品調達サービス国内市場における調査※で、利用ユーザー数シェア第1位となる57.0%（前年比+1.5pt）を獲得。2020年以降3年連続の首位獲得を達成しました。

※（株）テクノ・システム・リサーチ調べ



Corporate Data

会社情報

会社概要 (2023年3月31日現在)

商号	株式会社ミスミグループ本社 (英文名: MISUMI Group Inc.)
設立	1963年2月23日
本社	東京都千代田区九段南1丁目6番5号九段会館テラス
資本金	139億3千6百万円
事業内容	グループの経営戦略立案や管理ならびにそれらに付随するグループ経営に必要な機能を有する
従業員数	11,804名 (ミスミグループ連結)
URL	https://www.misumi.co.jp/

本社移転 ～サステナビリティ経営を進化させるオフィスへ～

2023年2月、本社オフィスを九段会館テラスへ移転しました。新本社では、オフィス利用社員とリモートワーク社員がミスミのモデル進化のために共創するスペースや、環境、ITインフラを整備しています。

九段会館テラスは、地球環境にも配慮されており、CO₂フリー電気の全館利用により当社本社におけるCO₂排出量は約1,012トンの削減となる見込みです*。また、災害時の安全性も確保されており、BCP的観点からの事業継続性が向上します。

当社は、これを機にサステナビリティ経営を進化させ、「顧客時間価値」を一層高めてまいります。

※ 2021年3月期と比較



Corporate Data

会社情報

ミスミグループトップマネジメント (2023年6月15日現在)

取締役						名誉会長
	代表取締役会長	西本 甲介	代表取締役社長	大野 龍隆		三枝 匡
常務取締役	金谷 知樹	常務取締役	清水 重貴	取締役	徐 少淳	
取締役 (社外)	中野 庸一	取締役 (社外)	清水 新	取締役 (社外)	栖閑 智晴	

経営執行役 統括G役員

代表取締役会長	西本 甲介	代表取締役社長	大野 龍隆		
常務取締役 中亞事業統括 アジア企業体社長	金谷 知樹	常務取締役 日本企業体社長	清水 重貴	取締役 中国企業体副社長 ミスミ (中国) 精密機械貿易有限公司 董事長兼總經理	徐 少淳
常務執行役員 欧米事業統括 欧州企業体社長	男澤 一郎	CIO・常務執行役員 デジタルトランスフォーメーション システムプラットフォーム 代表執行役員 SCMオペレーションプラットフォーム 代表執行役員	佐藤 年成	常務執行役員 ID ^{※1} 企業体社長	吉田 光伸
常務執行役員 人材・法務プラットフォーム 代表執行役員	佐々木 貴子	CFO・常務執行役員 ファイナンスプラットフォーム 代表執行役員 SXプラットフォーム 代表執行役員	高波 徹	常務執行役員 中国企業体社長	荒川 亨

経営執行役

日本企業体副社長	荘司 秀佳	日本企業体副社長	小林 延好	米州企業体社長	大洞 龍児
生産プラットフォーム 代表執行役員	遠矢 工	OST企業体社長	渡邊 宣公	日本企業体 執行役員常務 IM ^{※2} 事業統括 IE ^{※3} 事業統括	川上 浩一
中国企業体 執行役員常務 PASS推進本部長	馬場 隆	Gateway推進本部長	鷺見 昌文		

監査役

監査役				創業者	
監査役	和田 高明	監査役 (社外)	野末 寿一	名誉会長・第2期創業者	三枝 匡
監査役 (社外)	青野 奈々子			特別顧問・創業者	田口 弘

※1 ID=Industrial Digital Manufacturing ※2 IM=Industrial Machinery ※3 IE=Industrial Electronics

Shareholders Memo

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会・期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料、平日9:00 -17:00)
同送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場
公告の方法	電子公告 ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL	https://www.misumi.co.jp/ir/

書面交付請求について ~インターネットのご利用が困難な株主さまへ~

書面で受領するためのお手続き(書面交付請求)が可能です。

- ・交付書面請求の受付期限は、株主総会の基準日までにお申し出が必要です。
- ・お手続き方法については、証券会社または株主名簿管理人にお申し出いただく必要があります。

注意事項

業績予想に関する留意事項

この資料に掲載されている通期の見通しおよび将来に関する記述部分につきましては、現時点で入手可能な情報をもとに、ミスミグループが合理的であると判断した一定の前提に基づいておりますが、実際の業績は、様々な要素により、これら事業予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

住所変更、買取請求その他各種お手続きについて

原則、株主さまの口座のある証券会社にお問い合わせください。なお、特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

『Red Highway Trust』 1978年

ジェームズ・ローゼンクイスト

ローゼンクイストは学生時代から看板屋のアルバイトで日銭を稼いでいました。60年代になると巨大なキャンバスに広告用看板のようなテイストで、大衆消費社会のイメージをモチーフとした作品を描き、ポップアートの代表的アーティストと呼ばれるようになりました。

『Red Highway Trust』ではアメリカのライフスタイルの象徴である自動車、さらにその車内には雑誌広告にあるベルビータ社のチーズが赤く描かれ溢れそうになっています。

株式会社 ミスミグループ本社

〒102-8583 東京都千代田区九段南1丁目6番5号 九段会館テラス
TEL:03-6777-7501 FAX:03-5211-7502
URL : <https://www.misumi.co.jp/>

